

AFC Champions League 2018
Group E Matchday 5
2018.04.04 WED

VS 全北現代(韓国)



敵地での敗戦のリベンジだ GS逆転突破へ勝ち点3を掴み取れ!

現在、AFCチャンピオンズリーグ(ACL)はグループステージ4試合を終え、レイソルは勝点4の3位となっている。この試合でレイソルが引き分け以下の場合、傑志vs天津の結果次第では、グループステージ敗退が決定する、もう後がない状況だ。その一方で自力突破の可能性が残されているのも事実。中山雄太は「2勝すればラウンド16に上られる。勝てばいいだけなので目標ははっきりしている」とシンプルに現状を捉えている。

しかし相手は現在グループ首位に立つ全北現代だ。2月のアウェイ戦では2点リードした状況から逆転負けを喫したように、一筋縄でいく相手ではない。197.5センチのFWキム・シヌクをターゲットにしたハイボール攻撃、フィジカルコンタクトの強さ、Jリーグでは体感できないハイプレスの強度と、警戒すべき点は数知れない。3月の欧州遠征を敢行した韓国代表メンバーには、前述のキム・シヌクをはじめ、MFイ・ジェソン、DFキム・ジンスら7選手が選出された。韓国サッカー界のレ

ジェンド、FWイ・ドングックを含め、経験と実力を兼ね備えたアジア最高レベルのチームである。

ただ、直近の明治田田生命J1リーグ第5節のヴィッセル神戸戦では、伊東純也の2得点で勝利をつかみ取り、今回の大一番に向けて弾みをつけた。大谷秀和は「全北の守備が人に来る分、スペースは動く。空いたスペースを見逃さずに入っていくことが必要」と勝負のポイントを話す。勝利が絶対条件の背水の陣。この一戦に勝ち、グループステージ突破へ可能性をつなぐ。

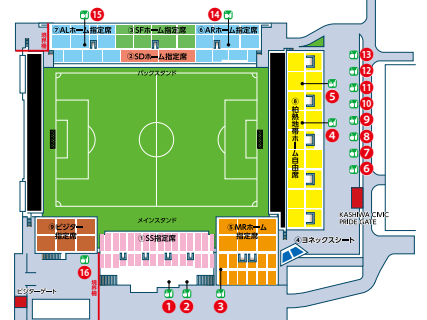
ハタメグミのお絵かき 日立台

ええと、GL、大変厳しい位置にあります。が!とにかく勝たねば何も始まらないので、勝ちましょう今夜!! 必ず勝つと書いて必勝だああい!



食べ尽くせ!! 日立台グルメ

- ①鳥よし(カレー など) ②ローソン(おにぎり など) ③ブラウンシュガー(焼きそば など) ④日京クリエイト(レイソル勝つサンド など) ⑤ローソン(おにぎり など) ⑥Labo Café×E-S-A(プルたま丼 など) ⑦ITSブラジリアンバーベキュー(レイソル勝つドッグ など) ⑧ボンベ×日立台カレー(レイソルカレー など) ⑨海賊船(たこ焼き など) ⑩エフェケパブ(ドネルケパブ など) ⑪ブラウンシュガー(ステーキプレート など) ⑫日京クリエイト(4/4は休業) ⑬侍(もつ煮込み など) ⑭ローソン(おにぎり など) ⑮ドミノピザ(ピザ各種 など) ⑯D&C(チーズドッグ など)



柏レイソル vs 全北現代

KASHIWA Reysol

[監督] 下平 隆宏 Takahiro SHIMOTAIRA

1	GK	桐畑 和繁	Kazushige KIRIHATA
2	DF	鎌田 次郎	Jiro KAMATA
3	DF	ユン ソギョン	YUN Suk-Young
4	DF	中谷 進之介	Shinnosuke NAKATANI
5	DF	中山 雄太	Yuta NAKAYAMA
7	MF	大谷 秀和	Hidekazu OTANI
8	MF	小泉 慶	Kei KOIZUMI
9	FW	クリスティアーノ	CRISTIANO
10	MF	江坂 任	Ataru ESAKA
11	FW	山崎 亮平	Ryohei YAMAZAKI
13	DF	小池 龍太	Ryuta KOIKE
14	FW	伊東 純也	Junya ITO
15	MF	キム ボギョン	KIM Bo-Kyung
16	GK	滝本 晴彦	Haruhiko TAKIMOTO
17	MF	手塚 康平	Kohei TEZUKA
18	FW	瀬川 祐輔	Yusuke SEGAWA
19	MF	中川 寛斗	Hiroto NAKAGAWA
20	FW	ハモン ロペス	RAMON LOPES De Freitas
21	GK	猿田 遥己	Haruki SARUTA
22	DF	パク ジョンス	PARK Jeongsu
23	GK	中村 航輔	Kosuke NAKAMURA
24	DF	宮本 駿晃	Toshiaki MIYAMOTO
25	MF	田中 陸	Riku TANAKA
26	DF	古賀 太陽	Taiyo KOGA
27	DF	今井 智基	Tomoki IMAI
28	MF	栗澤 僚一	Ryoichi KURISAWA
29	DF	中川 創	Sou NAKAGAWA
30	MF	澤 昌克	Masakatsu SAWA
37	MF	細貝 萌	Hajime HOSOGAI
39	DF	亀川 諒史	Masashi KAMEKAWA

※出場停止:亀川 諒史

Staff

ヘッドコーチ/加藤 望 Nozomu KATO

コーチ/岩瀬 健 Ken IWASE

フィジカルコーチ/松原 直哉 Naoya MATSUBARA

GKコーチ/松本 拓也 Takuya MATSUMOTO

KASHIWA Reysol

AFC
CHAMPIONS
LEAGUE2018.04.04 WED 日立柏サッカー場
19:30 KICK OFF

マッチコミッショナー:ベンジャミン・タン(シンガポール)
アセッサー:アハマド・ヤクブ・ジュマ(アラブ首長国連邦)
主審:トゥルキ・アルフダイル(サウジアラビア)
副審:ファハド・アルウムリ、ハラフザイド・アルシャマリ(サウジアラビア)
第4の審判:ラズラン・ジョフリ・アリ(マレーシア)

予想スターティングメンバー



全北現代モータース

[監督] チェ・ガンヒ CHOI Kanghee

1	GK	ホン・ジョンナム	HONG Junkman
2	DF	イ・ヨン	LEE Yong
3	DF	キム・ミンジェ	KIM Minjae
4	MF	シン・ヒョンミン	SHIN Hyungmin
5	MF	イム・ソニョン	LIM Sunyoung
6	MF	チェ・ボギョン	CHOI Bokyoung
7	FW	ハン・ギョウォン	HAN Kyowon
8	MF	チョン・ヒョク	JUNG Hyuk
9	FW	キム・シヌク	KIM Shinwook
10	FW	リカルド・ロペス	RICARDO LOPES Pereira
11	FW	チアゴ・アウベス	TIAGO ALVES Sales De Lima
14	MF	イ・スンギ	LEE Seunggi
15	DF	イ・ジェソン	LEE Jaesung
16	DF	チョ・ソンファン	CHO SUNGHWAN
17	MF	イ・ジェソン	LEE Jaesung
18	FW	ナ・ソンウン	NA SUNGEUN
19	DF	パク・ウオンジェ	PARK Won-Jae
20	FW	イ・ドングク	LEE Donggook
21	GK	ファン・ビョングン	HWANG Byeonggeun
22	DF	キム・ジンス	KIM Jinsu
23	DF	ユン・ジヒョク	YUN Jihyeok
25	DF	チェ・チョルスン	CHOI Chulsoon
26	DF	ホン・ジョンホ	HONG Jeongho
27	FW	ユ・スンミン	YU Seungmin
28	MF	ソ・ジュノ	SON JUNHO
31	GK	ソ・ボンゲン	SONG Bumkeun
32	FW	アドリアーノ	Carlos ADRIANO De Sousa Cruz
33	DF	パク・ウオンジェ	PARK Wonjae
34	MF	チャン・ユノ	JANG Yunho
38	DF	パク・ジョンホ	PARK Jeongho

※出場停止:イ・ヨン、チェ・ボギョン

Jeonbuk Hyundai Motors
Football Club

Stop the Key Player

全北現代
20FW イ・ドングク

KリーグとACLの両方で最多得点記録を持ち、過去4度のKリーグMVP経験を誇る韓国サッカー界のレジェンド。今年2月の対戦では後半から出場し、2得点を挙げてレイソルを奈落の底へ突き落とした。また、3年前の2015年のグループステージ第5戦でも鮮やかなオーバーヘッドと強烈なミドルシュートを決め、レイソルを窮地に追い込んでいる。この男が得点を決めると全北を勢いづかせてしまうだけに、必ず封じなければならない。



全北現代モータース

<http://www.hyundai-motorsfc.com/>

韓国の南西部、全羅北道の全州市をホームタウンとするKリーグ優勝5回、ACL優勝2回を誇る韓国屈指の強豪クラブ。昨年はクラブ5度目となるKリーグ優勝を勝ち取ったが、審判買収事件によりACL2017の出場権を剥奪され不出場となった。

Reysol Goods!

新商品発売のお知らせ
リボンマグネット(柏から世界へ)、Tシャツ(カタカナ)
4月4日(水)から発売開始!

リボンマグネット
(柏から世界へ)
¥1,944Tシャツ
(カタカナ)
¥2,484

※記載されている金額は消費税(8%)込みの金額となります。※4/4発売当日はバックスタンド売店は休業となります。4/8広島戦より取扱い開始となりますのでご注意ください。

◎商品によって取扱売店、ショップが異なります。詳しくはレイソル公式サイトをご参照ください。

※店舗によって在庫状況が異なります。品切れの際はご容赦下さい。

◎柏レイソル公式オンラインショップURL

<http://www.reysol-online.jp/>

——中断期間を経て、ウィッセル神戸戦はどのような点が変わったと思いますか？

「まず攻撃に関しては、サイドからの崩しやクロスからシュートにつなげる部分は、中断期間に準備してきたものと比べれば、100%できたとは断言できないところですが。ただ守備に関してはセットプレーで失点こそしましたが流れの中からの失点はなく、最後まで1点のリードを守り切れたのは我々が成長できたところだと思います」

——キム・ボギョン選手は、最近の試合では左サイドを務めることが多くなっています。やってみた感触はいかがですか？

「ここ1、2年は、全北でプレーしているときを含めて、あまりサイドをやる機会が少なかったんですが、最近ではサイドで自分がどういうプレーをすべきかを常に考えています。チームで要求されるプレー、サイドで要求されるプレーはできないことはない自分では思っていますので、これからはどんどん良くなっていくと思います。以前はサイドでプレーすることもありましたから、当時を思い返し、チームで求められていることを擦り合わせて、自分のベストのプレーを模索していきます」

——今回の相手はキム・ボギョン選手の古巣、全北現代です。2月に対戦したときはどのような印象でしたか？

「試合内容を振り返れば、完璧な内容の試合ではなかったと思います。ただ見方によつては全北のチームカラーである決定力や、難しい試合でも勝ち切る勝負強さを



15MF
KIM Bokgyung

キムボギョン

出されてしまったので、我々としては非常に難しい試合になってしまいました」

——全北現代と対戦してみても、自分が在籍していたときにはわからなかった新たな発見はありましたか？

「彼らにとってはあの時期が100%のコンディションではないですし、試合レベルも100%に持っていない状況だったと思います。パスや中盤での作りで難しさがあり、まだ完璧ではないと感じました。ただ、今回の対戦では時間も経ち、全北もたくさん試合をこなしてきているので、2月とはまた違った姿を見せてくると思います」

——全北現代の突きどころは？

「自分が全北にいるときもそうだったんですが、日本のチームがスペースを見つけ出して、そのスペースを使うパス中心のサッカーは非常にやりづらく、脅威を感じていました。僕がレイソルに来て、このチームはそういうプレーが非常にうまいと感じましたし、そこを我々が100%発揮できれば良い試合になると思います。でも、それができなければ難しい試合になるでしょう」

——キム・ボギョン選手は韓国代表のイ・ジェソン選手と非常に仲が良いです。中盤で彼を抑えることで、レイソルにとっては有利な状況になりそうですか？

「彼がやりたいプレーは、2月の対戦では出さなかったと思います。彼としては非常にもどかしさを感じているだろうなというのは見ていて感じました。我々が相手に嫌なことができたから、そういう試合内容になったと思いますし、今回の対戦に関しても、イ・ジェソン自身も中盤の作りやパス出しに関しては神経

を使ってくると思うので、気をつけなければいけないと思います」

——グループリーグ突破のためにはこれ以上勝ち点を落とすわけにはいきません。

「現時点でどういう条件がポジティブかを考えるよりも、次の全北戦に勝つことだけを考えて準備するべきだと思いますし、結果は後からついてくると思います。先のことは考えず、とりあえずは全北戦に集中します」

——ホームの傑志戦の後、キム・ボギョン選手は「ACLでは特に内容よりも結果が大切だ」と話していましたが、今回の全北現代戦は、まさしく内容よりも結果の求められる試合です。

「確かにそう言ったと記憶しています。我々がアウェイの傑志戦にあのような形で敗れたことによつて、今のこの難しい状況を作ってしまったと考えると、やはり結果がすべてだと思いますし、結果を得ることで我々の未来があるので、結果を得られるように頑張りたいです」

——グループステージ突破を信じているサポーターへメッセージをお願いします。

「ファンの方々も全北戦がいかに大切な試合になるか実感していると思います。我々が勝利することによつて、今の難しい状況を有利な状況に変えられるでしょう。アウェイチームが日立台に来て、レイソルのサポーターの圧力に圧倒されて、なかなか自分たちのプレーができないような雰囲気を作っていただけだと思いますし、そういう雰囲気があれば我々も背中を押してもらって実力以上のものを出せるはずです。一緒に戦って勝利を目指していきましょう」



全北戦、ホーム4連勝へ

今年2月の対戦では2-3と全北に手痛い逆転負けを喫したが、通算成績では5勝1分1敗とレイソルが圧倒している。しかも日立台では3戦3勝。3年前の2015年の対戦では、全北が前年から公式戦無敗を継続するなか、それにストップをかけたのがレイソルであり、ホーム日立台のパワーを見せつけた形になった。その結果を受けて、敵将チェ・ガンヒ監督が試合後の会見で「この場所は我々にとって呪われている」と述べたことを、今でもはっきりと覚えている。

2012年の初対決はACLグループステージ第2戦だった。40分にFKから那須大亮のヘッドが決まってレイソルが先制すると、前半アディショナルタイムに、レアンドロ・ドミンゲスがPKと見事なループシュートを立て続けに決め、一気に3-0と突き放した。後半に1点を返され、しばらく試合は3-1のまま進んでいたが、試合終了間際にも田中順也、茨田陽生の得点で韓国王者に5-1の大勝を収めた。

ただ、この対戦では全北が多くの主力選手をベンチに置き、さらに当時を知る選手もイ・ドングッとチェ・チョルスンの2人だけと、6年前の大勝はほとんど参考にならない。むしろ全北の強さを体感したのは、2013年と2015年の対戦で

ある。

2013年の対戦はラウンド16だった。敵地での第1戦を2-0と先勝したレイソルが優位かと思われた。だが最低でも2得点が必要な全北は、立ち上がりからハイボール攻撃でレイソルのゴールへ襲いかかった。24分には先制を許し、試合の行方は分からなくなった。

「前半のレイソルは大半の時間で気迫が足らず、あの時間帯はACLを勝つための気持ちが出せていなかった。ゆえに球際などで相手に押し込まれ、後手を踏んでいた」

ネルシーニョ監督もそう酷評した前半だったが「しかし前半の終盤に選手たちがそこに気づき、プレーに気迫がこもり始めた」と続けたとおり、41分に渡部博文のヘッドで同点に追いつくと、51分にはジョージ・ワグネル、69分には工藤壮人の加点で突き放す。終盤に1点を返されたものの「得点を決める度に相手の気持ちが折れていくのがわかった」（工藤）と強者・全北をレイソルが力でねじ伏せた勝利となった。

そして3年前、2015年の対戦はグループステージ第5戦。互いに2勝2分で迎えた試合は、勝ったほうがグループステージ1位突破を決める重要な一戦だった。

それまで公式戦無敗記録を継続する全北の強烈なハイプレス、レイソルがパスワークでいいし、序盤から優位に試合を進めていく。9分、エドゥアルドの先制ヘッドに続き、密集地帯を突破した武富孝介がファインゴールで加点。さらにサイドを圧倒したクリスティアーノのアシストから武富が3点目を押し込んでリードを広げた。

ただ、さすがは全北。67分にイ・ドングッとオーバーヘッドで息を吹き返し、81分には再びイ・ドングッと強烈なミドルシュートを決めてレイソルを追い詰めたのである。終盤も嵐のようなパワープレーでレイソルのゴールへと襲いかかったが、吉田達磨監督は途中から中谷進之介を右SBへ入れるなどして守備を固め、全北のパワープレーを跳ね返した。3-2で逃げ切ったレイソルはグループ首位通過を決めた。

今年2月の第1戦では苦杯をなめたが、ホーム日立台ではそうはさせない。過去3度の対戦と同じく、レイソルが勝ってグループステージ突破の可能性を第6戦へつなぐ。

Profile / 鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

サッカーを愛する皆様へ

Jリーグ及び柏レイソルでは、安全で快適な試合観戦環境をご提供するため、「試合運営管理規程」に基づいて試合の安全管理とセキュリティを行っております。ご観戦の際は、柏レイソル公式HPや各入場ゲート付近に掲出してある「試合運営管理規程」を遵守していただき、試合の雰囲気を盛り上げるようなフェアな応援をお願いいたします。観戦ルールやマナーを守っていただくことで「安全で快適なスタジアム」は実現できると考えております。皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。また地震が多発している状況を受け、当クラブでは安全対策の強化に取り組んでいます。試合前、試合中に大きな揺れを感じた場合はあわてて出口や通路、階段に殺到しないようし、身をかがめる、頭を保護するなど身の安全を確保してください。なお、試合中に緊急地震速報が発表された場合、一時試合を中断いたします。場内アナウンスの指示に従って落ち着いて行動していただきますようお願いいたします。

KASHIWA Reysol 2018 Game Schedule

明治安田生命Jリーグディビジョン1

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
1	2月25日(日)	13:00	ベガルタ仙台	ユアスタ	A	●0-1
2	3月2日(金)	19:30	横浜F・マリノス	三協F柏	H	○2-0
3	3月10日(土)	15:00	セレッソ大阪	三協F柏	H	△1-1
4	3月18日(日)	15:00	ガンバ大阪	吹田S	A	△2-2
5	3月30日(金)	19:30	ヴィッセル神戸	三協F柏	H	○2-1
6	4月8日(日)	15:00	サンフレッチェ広島	三協F柏	H	
7	4月11日(水)	20:00	サガン鳥栖	ベアスタ	A	
8	4月14日(土)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	三協F柏	H	
9	4月22日(日)	16:00	V・ファーレン長崎	トラスタ	A	
10	4月25日(水)	19:00	浦和レッズ	三協F柏	H	
11	4月28日(土)	14:00	清水エスパルス	アイスタ	A	
12	5月2日(水)	19:00	湘南ベルマーレ	BMWスタ	A	
13	5月5日(土・祝)	14:00	ジュビロ磐田	三協F柏	H	
14	5月12日(土) or 7月25日(水) ^{*1}	15:00	川崎フロンターレ	三協F柏	H	
15	5月20日(日)	14:00	名古屋グランパス	豊田スタ	A	
16	7月18日(水)	19:00	FC東京	三協F柏	H	
17	7月22日(日)	18:30	鹿島アントラーズ	カシマ	A	

※1 両チームもしくはいずれかのチームがAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出した場合、7月25日(水)に開催。両チームともにAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出なかった場合、5月12日(土)に開催となります。※2 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が8月24日(金) 19:30@三協F柏に変更となる可能性があります。※3 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が9月14日(金)に変更となる可能性があります。※4 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が10月31日(水)に変更となる可能性があります。※5 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が11月6日(火)もしくは11月7日(水)に変更となる可能性があります。

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
18	7月28日(土)	19:00	ヴィッセル神戸	ノエスタ	A	
19	8月1日(水)	19:30	湘南ベルマーレ	三協F柏	H	
20	8月5日(日)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	札幌ド	A	
21	8月11日(土・祝)	19:00	ベガルタ仙台	三協F柏	H	
22	8月15日(水)	19:00	FC東京	味スタ	A	
23	8月19日(日)	19:00	ジュビロ磐田	ヤマハ	A	
24	8月25日(土) ^{*2}	19:00	V・ファーレン長崎	三協F柏	H	
25	9月1日(土) or 9月2日(日)	未定	横浜F・マリノス	日産スタ	A	
26	9月15日(土) or 9月16日(日) ^{*3}	未定	清水エスパルス	三協F柏	H	
27	9月22日(土) or 9月23日(日・祝)	未定	サガン鳥栖	三協F柏	H	
28	9月29日(土) or 9月30日(日)	未定	浦和レッズ	埼玉	A	
29	10月6日(土) or 10月7日(日)	未定	サンフレッチェ広島	Eスタ	A	
30	10月19日(金)	未定	名古屋グランパス	三協F柏	H	
31	11月3日(土) or 11月4日(日) ^{*4}	未定	川崎フロンターレ	等々力	A	
32	11月10日(土) ^{*5}	未定	鹿島アントラーズ	三協F柏	H	
33	11月24日(土)	未定	セレッソ大阪	ヤンマー	A	
34	12月1日(土)	未定	ガンバ大阪	三協F柏	H	

AFC
チャンピオンズリーグ
2018
グループステージ
グループE

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ	結果
1	2月13日(火)	19:30	全北現代モータース(KOR)	全州	A	●2-3
2	2月20日(火)	19:30	天津権健(CHN)	日立柏	H	△1-1
3	3月6日(火)	19:30	傑志(HKG)	日立柏	H	○1-0
4	3月14日(水)	20:00(現地)	傑志(HKG)	香港	A	●0-1
5	4月4日(水)	19:30	全北現代モータース(KOR)	日立柏	H	
6	4月18日(水)	未定	天津権健(CHN)	未定	A	